

『信州のいい川づくりモデル事業』

遠山川和田地区 河床低下対策工事 概要

【曲線帯工】自然石連結工法

- ・巨石を用いて、曲線で帯工を構築する。
- ・自然石にアンカーを打込み、連結をする。
- ・アーチ状（曲線）で据付ける事により水脈筋を河川中央部に導く。
- ・帯工を設ける事で、河床洗掘を防ぐとともに瀬淵を創出し流れに変化を付ける。

【根固工】背面ネット一体型空石張工（法面部）
自然石連結工法（天端部）

- ・自然石にアンカーを打込み、連結をする。
- ・景観性を考慮し、直線的な護岸とならない様に、石材を曲線に据え付け、入り組を創出する。
- ・頭首工下流に位置する、堤外水路護岸の河床洗掘防ぐために設置する。

【床張工】自然石連結工法

- ・自然石にアンカーを打込み、連結をする。
- ・アーチ状（帯工）の下流側にプールを設け帯工を越水してくる水を停滞（淵の創出）させる。
- ・帯工からの越水する流れでおこる、河床洗掘を防ぐ。

